

【体育・小4・「跳び箱運動」】 ①

育成を目指す資質・能力

- 〔知識及び技能〕 行い方を知るとともに、自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。
- 〔思考力・判断力・表現力等〕 自己の能力に適した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を選ぶことや、課題の解決のために考えたことを友達に伝えることができる。
- 〔学びに向かう力、人間性等〕 マットや跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の持ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとする。

ICT活用のポイント

自己の課題把握や解決のための練習や、考えたことを友達に伝える場面での活用

《導入》ウォーミングアップ
前時の振り返り（ロイロノート）
本時のめあての確認

《展開》
・自分の動きの動画撮影から、自己課題を把握する。
・個の課題に応じて練習方法を選択し、グループで練習する。

《まとめ》
本時の学習の振り返り

事例の概要

- 事例1 自己の台上前転の動きを動画撮影し、自分の課題を把握する
事例2 自己の課題に応じた練習の中で、仲間と動画撮影し考察する。

事例におけるICT活用の場面①

遅れ再生機能を使って撮影された自分の動画を確認したり、見本となる動きと自分の動きを比較したりすることで自分の課題を把握する。

事例におけるICT活用の場面②

自分の課題に応じた練習を選び活動する中で、同じ課題をもつ仲間同士で動画を見合い、意見交流をする。

【体育・小4・「跳び箱運動」】 ②

自己の台上前転の動きを動画撮影し、自分の課題を把握している様子



写真①

【事例におけるICT活用の場面①】

はなまるフォームの遅れ再生機能等を用い、自分の動きを動画撮影し、自己観察をすることで、既習事項における自分の動きや、本時における課題の把握ができるようにするとともに、運動量の確保にもつながっていた。また、NHK for Schoolで見本となる映像を確認し、自分の動きと比較することで自分の課題を明確にすることができる。
教員手作りの移動式タブレット撮影台を活用することで、動画撮影や観察もスムーズにできている。

自己の課題に応じた練習の中で、仲間と動画撮影し考察をしている様子



写真②

移動式のタブレット撮影台



【事例におけるICT活用の場面②】

自己課題に応じた練習の中で、ロイロノートを用い、仲間と動画を撮影、観察することで、課題解決のために意識するポイントや練習方法などについて、アドバイスし合うことができるようにする。本時の学習を振り返る場面において、撮影した動画の中に、動きについての振り返りを各自記入し、動画とともにロイロノート提出箱へ提出する。自分の動きを視覚的に確認できたことは、技能習得のポイントが明確になり、自己の課題把握から解決を探るより深い思考へとつながっていた。

活用したソフトや機能

